

キャラクター名
東雲 征一郎[シノム セイイチロウ]

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ハヌマーン		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	R.S.D.S.エースパイロット
	オプション			年齢	19	性別
覚醒	渴望	衝動	自傷	初期侵食率	39	%
出自	安定した家庭	経験	逃走	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	3	1	0	1		5	行動値	8
感覚	2	0	0	1		3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4	5	射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:工学的戦闘術	1		知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ゾディアックウェポン		-3	3	11		ダメージロール+1D 侵蝕率+2
		0				
ボーゼンブリック	白兵	7r+6		11+1D		+侵蝕補正 1+2 コスト: 6
	白兵	8r+6		11+1D		(100↑) 1+2 コスト: 6

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
Dロイス: 精鋭	P	N		
固定: "父親" 東雲 玄十郎	P 尊敬	N 食傷		
固定: エース	P 信頼	N 恐怖		
シナリオ: タカハシ	P 執着	N 敵愾心		
PC間: ジャックス・テイラー	P 尊敬	N 恐怖		
朝霧 環奈	P 感服	N		
石田 凜	P 信頼	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
神機合一	1	5	セットアップ				100	
効果: 効果参照								
フルインストール	2	5	イニシアチブ	至近	自身	-	100	
効果: 組み合わせ不可 ラウンド間、あらゆる判定のダイスを+[LV*3]個 1シナリオ1回								
コンセントレイト: ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	(シド[0-6])	-	
効果: C値-LV(下限7)								
アームズリンク	2	2	メジャー	武器	-	(白兵) (射撃)	-	
効果: 判定ダイス+LV個								
バリアクラッカー	1	4	メジャー	武器	-	(白兵) (射撃)	80	
効果: ガード不可、装甲無視 1シナリオLV回								
獅子奮迅	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	<白兵>	-	
効果: 対象を範囲(選択)に変更								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「覚えとけ、これがエースの力だ」
『黒風白雨(Rain shower in a dusut storm)』に所属するパイロット。エースを自負している。搭乗機はヤクトヴォルフ。

安定した家庭に生まれ、何不自由ない平凡な幼少時代を過ごした。だが平凡な毎日に飽き飽きとしており、心のどこかで常に刺激を求めている。

そんな退屈な毎日を送っていたが、5年前のある日転機が訪れる。いつものように帰路に着いていた自分の前に、突如として巨大な鉄塊…巨大な漆黒の機体が現れた。それが一体なんなのかは理解ができなかったが、退屈な毎日をぶち壊せるだけの力を内包しているということだけは直感的に理解できた。そんな物言わぬ漆黒の機体であったが、不思議とそれに呼ばれているような気がした。だから手を伸ばした。漆黒の機体…ヤクトヴォルフというらしい…と契約を果たしたことにより、オーヴァードとしての能力を手に入れた。

機体を手に入れてからはそれまでの退屈な毎日が嘘だったかのように世界が激変した。UGNと名乗る組織に声をかけられ、面白そうだったため所属することとなった。そこで今よりもっと高みを目指すため、ただひたすらに己と機体を手早く駆るべくひたすらに力を鍛え続けていた。そのかいもあってが部隊『黒風白雨(Rain shower in a dusut storm)』に所属することと相成り、そこでエースの称号を手にする事となる。エースの称号とともに特殊な装備として星座の名を冠する大剣が支給され、以来はそれを愛用している。

エースという称号は自身にとつての絶対的な誇りとなっており、自分は誰にも負けることがないとうぬぼれていた。が、そんな安い自尊心はゾルタクスゼイアンとの戦闘で邂逅した一人のパイロットにより粉々に打ち砕かれる。最初はその事実を受け入れられずにいたが、ゾルタクスゼイアンとの戦いを重ねていくうちに嫌でも理解させられた。自分よりもあいつの方が強いのだと。だがそんなことでエースの自分が腐ってなんではいけない、そう自身を鼓舞しつつあいつはタカハシと名乗るあのパイロットに勝つべく研鑽を続けている。